

令和4年4月22日
企画部企画課
0438-23-7428

木更津市は今年で市制施行80周年を迎えます

木更津市は昭和17（1942）年11月3日に誕生し、令和4年11月3日に市制施行80周年を迎えます。この節目となる年を「これまで」の歩みと「これから」を結ぶ年と位置付け、市民をはじめ、地域、企業、各種団体、行政等が市のまちづくりの担い手として連携し、環境に配慮しつつ、新たな未来に向けて、さらなる飛躍・発展・躍動の契機とするため木更津市制施行80周年記念事業を実施します。

1 取組方針について

記念事業を実施するにあたって、「木更津市制施行80周年記念事業の取組方針」を策定いたしました。（別紙1）

○ 3つの基本方針

（1）シビックプライドの醸成 （2）未来ビジョンの共有 （3）パートナーシップの実現

2 記念事業について

記念事業については上記3つの基本方針のもと、さまざまな事業を実施していきます。
予定している主な事業は、別紙2をご覧ください。

3 冠称事業の募集について

皆さんの企画しているイベントや事業に「市制施行80周年記念」等の冠称や、「市制施行80周年記念ロゴマーク」を利用し、一緒に木更津市市制施行80周年のお祝いをしませんか？

市制施行80周年記念ロゴマーク



【デザインの意味】

- ・ LGBTを象徴するレインボーフラッグの色（赤、オレンジ、黄、緑、青、紫）を使用し、市制施行80周年記念事業の基本方針であるパートナーシップ（共生社会）の実現という意味を込めています。
- ・ 80thの部分が「∞（無限大）」となっており、人と人とのつながりは無限大そして木更津市の未来も無限大という意味を込めております。

【問い合わせ先】

企画部企画課 影山・平野

TEL:0438-23-7428

E-mail:kikaku@city.kisarazu.lg.jp

木更津市制施行 80 周年記念事業の取組方針

企画部企画課

1. まえがき

木更津市は、昭和 17 年（1942 年）11 月 3 日、木更津町、巖根村、清川村、波岡村の 1 町 3 村が合併し、千葉県下で 6 番目に市制を施行しました。

戦時下に「軍都」としての役割を担った本市は、その後、昭和 29 年（1954 年）の鎌足村との合併、昭和 30 年（1955 年）の金田村、中郷村との合併を経て、昭和 46 年（1971 年）の富来田町との合併とともに、交通機能、行政機能、商業機能が集積した都市として、また、東京湾と上総丘陵がおりなす美しい自然や風土に囲まれた首都圏域内の近郊都市として発展を遂げてまいりました。

平成 4 年（1992 年）には、首都機能の一翼を担う業務核都市に位置付けられ広域連携拠点としての役割を担うとともに、かずさアカデミアパークや東京湾アクアライン、館山自動車道、首都圏中央連絡自動車道などの広域幹線道路網の整備進展により、本市は、極めて交通利便性の高い都市環境が整ってきております。

このような本市が有する地域資源や強み、ポテンシャルを活かし、オーガニックなまちづくり（人と自然が調和した持続可能なまちづくり）を推進しているところであり、定住人口や交流人口、さらに関係人口も増加しているなか、令和 4 年（2022 年）に市制施行 80 周年の大きな節目を迎えます。

2. 基本理念

市制施行 80 周年という記念の年を「これまで」の歩みと「これから」を結ぶ年と位置付け、市民をはじめ、地域、企業、各種団体、行政等が市のまちづくりの担い手として連携し、新たな未来に向けて、さらなる飛躍・発展・躍動の契機とするため木更津市制施行 80 周年記念事業を実施します。

3. 基本方針

基本理念を踏まえ、「シビックプライドの醸成」、「未来ビジョンの共有」及び「パートナーシップの実現」を基本方針と定めます。

(1) 【市民の】シビックプライドの醸成

近年、市外から移り住む方々が増えてきているなか、広域連携の拠点都市として発展してきた木更津の歴史を振り返り、皆で一緒にまちの魅力を再認識し、愛着と誇りを高める。

広域連携拠点都市として成長を続け、円熟しつつも、さらに進化を続ける木更津市のこれまでの歩みを振り返り、今日までに至る発展を築き上げてきた先人たちの功績を称えとともに、本市の歴史、文化、自然を学び、市への愛着や市民としての誇り（シビックプライド）の醸成を図る機会とします。

(2) 【市民と】未来ビジョンの共有

市制施行100周年を見据えたまちづくりのスタートの年となるよう、誰もが住みやすいまちを目指し、新たな時代にふさわしい、まちづくりビジョンを市民と共に描き、共有し、未来へつなげる。

現在の木更津市の立ち位置や置かれている状況をふまえ、「これからの木更津」を意識した明確なビジョンを持ち、20年後の未来を見据えた新たなまちづくりをスタートするとともに、それを持続的に引き継いでいくことができるよう、本市の未来のあり方や、担うべき役割はどういうものかを市民と共に考え、共有し、行動できるような取組を推進します。

(3) 【市民との】パートナーシップの実現

市民や各種団体など、さまざまな主体が記念事業に参画し、交流の輪を広げることで、市民とともに取り組むまちづくりに向けての飛躍を目指す。

共生社会の実現に向けて、市民・企業・団体等の多様な主体と連携、行動ができるよう取り組みます。交流の場を広め、関係を深めることで、今後も多様な主体がまちづくりのパートナーとして関わってもらえるような気運の醸成、また自らが役割を認識し、それに参画できる機会、意識づくりを推進します。

本コンセプトは、本市がまちづくりを進めていくうえでも必要不可欠な要素であることから、今回の市制施行80周年記念事業では、市民や企業、団体等とのパートナーシップにより、すべての事業が行われることを目指します。

4. 推進体制

事業実施にあたって、基本理念のもと、多くの市民・企業・団体等さまざまな主体が参画できる体制を構築し、市全体で事業の推進を図ります。

(1) 木更津市制施行80周年記念事業実行委員会

基本理念に則り、円滑な記念事業の実施・推進を図るため設置します。

また、効果的かつ効率的な事業実施のため、実行委員会内に部会を設置します。

【構成メンバー】

副市長・各種団体の代表者等

【役割】

- ・実行委員会が主体となり行う記念事業並びに記念式典等の実施及び運営に関すること
- ・市実施事業及び市民実施事業の冠称等の承認及び推進に関すること
- ・記念事業の広報及び啓発に関すること

(2) 木更津市制施行80周年記念事業庁内推進本部

市の内部組織として、円滑な記念事業の実施・推進を図るため設置します。

【構成メンバー】

各部等の長

【役割】

- ・市が主体となって行う記念事業の実施及び運営に関すること
- ・実行委員会実施事業及び市民実施事業の推進に関すること
- ・関係部局間の連携調整に関すること

5. 事業構成

市制施行80周年を記念し、実施する事業の構成は、以下のとおりとします。

(1) 記念式典

令和4(2022)年11月3日(木)に実施。市政発展へ貢献された方々への表彰や、大きな節目を祝うセレモニーとして、また、100周年を見据えた未来へのまちづくりのビジョンを示す場として実施します。

また、式典の実施運営にあたっては市民のボランティアを募り参画してもらうなどし、「市民と作り上げるセレモニー」としての形を目指します。

(2) 記念事業

① 実行委員会実施事業

実行委員会が主催し取り組むもの

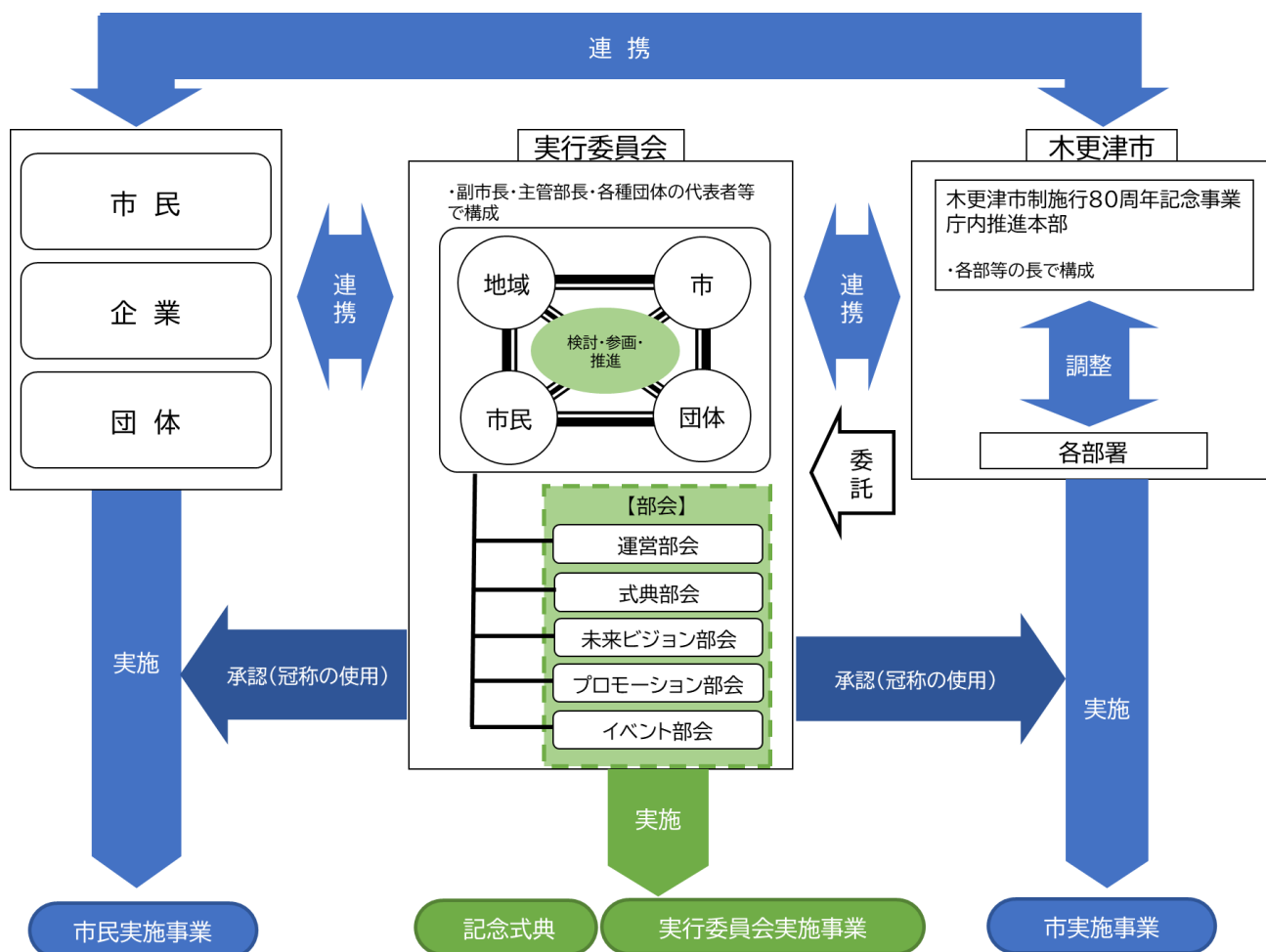
② 市実施事業

市が主催して新たに取り組むものや、80周年に合わせて既存の事業を充実させて実施するもの

③ 市民実施事業

市民や団体、企業等が主催し取り組み、記念の年を盛り上げ、市のPRに役立つなど、実行委員会が協賛等を通じた支援を行い実施するもの

6. 事業実施のイメージ



7. 事業期間

令和4(2022)年3月から令和5(2023)年3月を事業期間とします。

8. 事業実施に係るスケジュール

年 月	業 務	備 考
令和4年 3月	実行委員会設立総会 第1回実行委員会（規約の制定・記念事業実施の目的、委員会役割、実施体制等の説明）	ホームページ等PR体制の検討整備 【市民実施事業の募集】
4月	第2回実行委員会（事業計画・予算案）	【記念事業実施期間】
5月		
6月		
7月	第3回実行委員会（各部会経過報告）	
8月		
9月		
10月	第4回実行委員会（各部会経過報告）	
11月	記念式典（11月3日）	
12月		
令和5年 1月		
2月		
3月	第5回実行委員会（事業報告・収支決算・解散）	

※必要に応じて実行委員会を適宜開催（計画変更、予算補正等）

木更津市制施行80周年記念事業実行委員会 委員一覧

■ 各種団体等

No.	区分	団体等名	氏名
1	地域	木更津市区長会連合会	北村 和則
2	産業	一般社団法人 木更津市観光協会	鈴木 まり子
3	経済	木更津商工会議所	鈴木 敏栄
4	福祉	社会福祉法人 木更津市社会福祉協議会	滝口 君江
5	教育	木更津市文化協会	鹿島 典子
6	教育	木更津市青少年相談員連絡協議会	水島 享子
7	議員	木更津市議会	重城 正義
8	スポーツ	木更津市スポーツ協会	鈴木 晟夫
9	まちづくり	一般社団法人 かずさ青年会議所	松田 梨沙
10	環境	NPO法人 環境カウンセラー千葉県協議会	吉田 昌弘
11	報道	株式会社ジェイコム千葉 木更津局	會澤 はるか
12	報道	かずさエフエム株式会社	石村 比呂美

■ 木更津市

No.	職名	氏名
1	副市長	田中 幸子
2	市長公室長	重城 貴浩
3	総務部長	伊藤 浩之
4	企画部長	石井 宏典
5	財務部長	渡邊 雅彦

No.	職名
1	市長公室長
2	総務部長（副委員長）
3	企画部長（委員長）
4	財務部長
5	市民部長
6	健康こども部長
7	福祉部長
8	環境部長
9	経済部長
10	都市整備部長
11	会計管理者
12	消防長
13	教育部長
14	議会事務局長
15	監査委員事務局長
16	農業委員会事務局長
17	選挙管理委員会書記長

木更津市制施行80周年記念事業実行委員会 部会一覧

部会名		主な役割	部会長	副部会長	部会の庶務担当
運営部会		実行委員会全体の総合調整	企画部長	企画部次長	企画課
式典部会		記念式典の準備・運営	総務部長	総務部次長 市民部次長 会計管理者 議会事務局次長	総務課
未来ビジョン部会		100周年を見据えたまちづくりビジョンを市民と共に策定し、共有する	企画部長	企画部次長 環境部次長	企画課
プロモーション部会		記念事業の広報や記念誌、記念映像の制作、シティプロモーション活動を実施	市長公室長	市長公室次長 財務部次長	シティプロモーション課
イベント部会	RUNイベント部会	木更津ブルーベリーRUNの開催にあわせたイベントの実施	健康こども部長	健康こども部次長 消防本部次長 監査委員事務局長 選挙管理委員会書記長	スポーツ振興課
	CYCLEイベント部会	サイクルスポーツを快適に楽しむイベントの実施	経済部長	経済部次長 都市整備部次長 農業委員会事務局長	観光振興課
	きさらぶコレクション部会	共生社会の実現をテーマにしたファッションショーを実施	教育部長	教育部次長 福祉部次長	学校教育課

〇市が予算を負担して実施する主要事業

事業名	所管課	事業概要
木更津みなとぐちアートプロジェクト2022 (MINART)	教育部文化課	現代アーティストと子どもたちを中心に、地域の方々と共に、「考える・つくる・見せる」ことを学びながら、それぞれがアートを体感して、新たな文化・芸術的価値を創造していくための取組を実施
木更津スポーツフェスタ	健康こども部 スポーツ振興課	「初挑戦」をテーマに、親子向けに多様なスポーツに触れるイベントを実施

予定している主な事業

別紙2

事業名	概要	開催時期	場所
記念式典	市政発展へ貢献された方々への表彰や、大きな節目を祝うセレモニーとして、また、100周年を見据えた未来へのまちづくりのビジョンを示す場として実施します。	11月3日（木・祝）	かずさアカデミアホール
きさらづコレクション (KISARAZU COLLECTION 2022)	「共生社会の実現」を目指し、子どもたちでつくり上げる「ファッションショー」をデザイナー監修のもと開催します。	11月3日（木・祝）	鳥居崎海浜公園
木更津みなとぐちアートプロジェクト2022(MINART)	木更津駅周辺の中心市街地の「みなと口」で、みなとまち木更津のもつ歴史や文化、地域資源に触れ、そこから「木更津らしさ」をイメージした作品を、現代アート作家（アーティスト）と、市民とともに制作し、制作した作品を展示します	11月中旬～12月上旬	木更津駅西口～木更津港
RUNイベント	これまで積み上げてきた「スポーツを通じたまちづくり」を、さらなる飛躍の基盤とするため、地域の様々な主体と連携し、毎年開催している「木更津ブルーベリーRUN」に合わせたイベントを開催します。	11月頃	調整中
CYCLEイベント	サイクリングに対する気運の醸成を図るため、地域の様々な主体と連携し、サイクルイベントを開催します。	調整中	調整中
木更津スポーツフェスタ	「初挑戦」をキーワードに、今後スポーツを始めてみたいと思っている、小学生とその保護者を対象に、オリンピック種目やパラスポーツなどの様々なスポーツを市内体育施設で体験してもらうイベントを開催します。	12月11日（日）	市民体育館、江川総合運動場
きさらづ未来会議	100周年の未来を見据え、高校生や、40代半ばまでの社会人に加え、地域社会・経済を担い活躍しているメンバーによるワークショップを実施します。	5月～7月頃	調整中